

教育センターだより

7月

文月(ふみづき)
穂含月(ほふみづき)
稲穂が実る月



399号 令和5年7月3日発行
砺波市教育センター HPはこちら
〒939-1398 砺波市栄町7番3号
TEL 33-1559 FAX 33-1157
E-mail tonami-ec@tym.ed.jp



職員室の心理的安全性をつくる

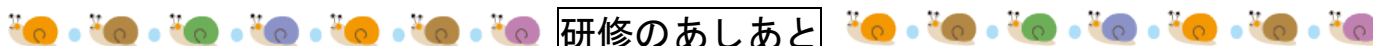
- 「話」 (何を言っても大丈夫)
- 「助」 (困ったときはお互い様)
- 「挑戦」 (とりあえずやってみよう)
- 「新奇歓迎」 (どんなことも、どんな人もどんとこい!)



この4つは、心理的安全性をつくるための要因だそうです。(石井遼介「心理的安全性のつくりかた」より) 子供たちにとって、学校が安心・安全な場所になるためには、まず、職員室が教職員にとって安心・安全な場所になることが大切です。

6月16日(金)、大空小学校初代校長木村泰子先生を招聘し「学校づくり研修会」を開催しました。木村先生は、これからの教員に必要な資質能力は、「人の力を活用する力」であり、「こんなことあったんだけど、どう?」と会話を重ねることで、これまでの「当たり前」が変わり、職員室が変わっていくと話されました。

さあ、みなさん、隣の方に「どう?」と会話を始めませんか。



研修のあしあと

若手教員研修会

期日：令和5年6月12日(月)

場所：体育センター

内容：仲間づくりゲーム
フリートーク



活動を通して感じたことをシェアすることで、互いに分かり合えますね。

初任者研修会

期日：令和5年6月13日(火)

場所：まなび交流館

内容：模擬授業、フリートーク



授業の導入について協議し、模擬授業に取り組みました。



学校訪問研修・教育長訪問より〔Part 1〕

学校全体で授業改善に向けて取り組んでおられることが、先生方や子供たちの姿から伝わってきました。いくつかご紹介します。

学び合い

- ・子供たちが必要に応じて、自由に席を離れて相談し、学び合っている
- ・教師の発話量を減らし、子供たちの発言が続くようにしている
- ・子供たちの「分かりません」「どうして？」を大切にしている

心理的安全性

- ・教師が笑顔で、丁寧な言葉で話している
- ・気になる子供へは優しくその子供だけに聞こえる大ききで声かけをしている
- ・授業の流れがどの子供にも分かるように板書してある
- ・黒板の文字が大きく、端的に書かれている

学習者主体の授業づくり

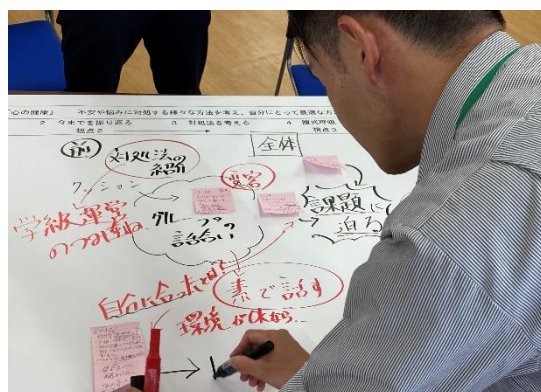
- ・子供たちの問題意識を高めるために導入を工夫している
- ・課題解決の方法やまとめ方を選択することができる
- ・タブレットをいつでも自由に活用できる



協議会より

フリーカード法で協議を深めるワークショップ型の協議会が多く見られます。

- ① 付箋は黒マジックで端的に書く
- ② 付箋をグルーピングしながら整理して貼る
- ③ 付箋の多い部分を中心に論点を絞って協議する
短い時間でも、集中すれば「次の授業に生かしたいこと」を教職員全員で情報共有できます。



お知らせ

- ・センター研修の予定はホームページでご確認ください。
- ・夏の研修会の申し込みは、まだ可能です。主体的な参加をお待ちしています！